

「人權侵犯」認定 差別發言多々 杉

自民党的杉田水脈（みずみ）衆院議員による「アイヌ民族を侮辱する投稿について、札幌法務局が「人権侵犯の事実」を認定しました。杉田氏は今回認定された投稿以外にも数々の差別発言を繰り返してきました。国會議員を続けさせ、政権の要職にも据えてきた自民党と岸田政権の責任は重大です。

し、「チマチヨリやアイヌの民族衣装のコベア、しねまさんまで登場。完全に品格に問題があります」「などとブログなどに投稿。同法務局が人権侵犯の事実を認め、杉田氏に、アイヌ文化を学び発言を注意するよう「啓発」したことが20日に分かりました。

しかし同日の記者会見でこのことを問われた松野博一官房長官は、「一般論としてアイヌの人への差別はあってはならない」と答えた。杉田氏の差別説明を理由に「御案を理由に「御理解してもらえる」と答弁をしました。

『新潮45』(同年8月号)に寄稿。各地で抗議集会が開かれました。

また、「慰安婦問題とはつまり、国内の反日勢力によって捏造(ねつぞう)された問題ともいふのです」(同年4月号)『新潮45』など歴史修正主義の発言も続けてきました。

田原氏は数々の差別発言にもかかわらず同氏を厚遇。安倍晋三政権時代の17年の総選挙では比例中国アロックド、西野

改選では田中を総務政務官に抜てき。多くの批判の中で同年末に事実上更迭しましたが、説明責任を果たしてしません。

杉田 議員 厚遇自民と岸田首相に責任

ノリティーたぐい「彼女は子供を作りたい」という想いが、『誕生日』が

党の単独候補の最上位に据えました。岸田文雄首相も21年総選挙で杉田和博、 Hanson、曾田

伊藤寺